

# ACOUSTIC JUNIOR

# ACOUSTIC JUNIOR GO

# ACOUSTIC SFX II



OWNER'S MANUAL  
オーナーズ・マニュアル  
ユーザー手冊

Fender®

## はじめに

Fenderの Acoustic Junior、Acoustic Junior Go、そして Acoustic SFX II アンプリファアーは、特製の木製キャビネットによる、アコースティック・エレクトリックギターおよびマイクロフォンのための豊かで自然なトーンをお届けします。3種類のアンプはすべて、Bluetooth ワイヤレス ストリーミングに対応しており、スタジオ品質のステレオエフェクト、AUX入力およびヘッドフォン出力、コンフィギュアブルなXLRライン出力、オーディオレコーディングに対応したUSBジャックほかを装備しています。

ソロパフォーマンスにもってこいのポータブルシステム、Acoustic Junior および Acoustic Junior Go アンプには、それぞれにスタジオ品質のステレオエフェクトを搭載した、2つのチャンネルが装備されています。Acoustic Junior Go は、便利で環境にやさしい充電式バッテリーで駆動し、1度の充電で、フル音量で5時間使用できます。100ワットのパワー、シングル8インチスピーカー、コンプレッションツイーター、便利なティルトバック キックスタンドを装備し、軽量の両アンプともに、多種多様なヴェニューでの、ギター&ボーカル リハーサルおよびパフォーマンスにぴったりです。

ソロパフォーマンスやバンドでのステージに、Acoustic SFX II アンプは、デュアルチャンネル設計で、スタジオ品質のステレオエフェクトや、ステレオを超越した音像で空間を満たしてリスナーを包み、リッチな音響体験を提供する驚異のStereo Field Expansion (ステレオフィールドエクспанション - SFX) テクノロジーも採用しています。最大200 ワットの強力な本機は、ギター&ボーカルパフォーマンスにふさわしいパワーと性能を備えています。



*Acoustic Junior (左)、Acoustic SFX II (中央)、Acoustic Junior Go (右)。*

## コントロールパネル



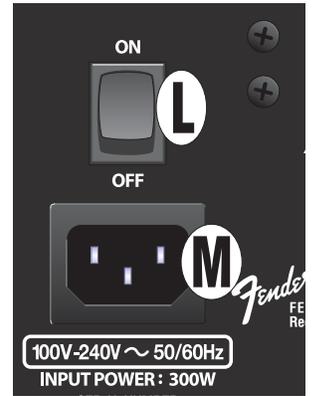
- A. CHANNEL (チャンネル入力):** XLRおよび高インピーダンス¼インチ入力を接続するコンビネーションジャックです。インストゥルメントまたはマイクロフォンを接続します; XLR入力は、電源が必要なマイクにファンタム電源を供給します(リボンマイクはファンタム電源により損傷が生じるため使用しないでください)。<sup>\*</sup>
- B. VOLUME (音量):** 全体の音量レベルを調節します(ヘッドフォンおよびUSB/ライン出力を含む)。<sup>\*</sup>
- C. FX LEVEL (エフェクトレベル):** FX SELECT(エフェクト選択)コントロールで選択したエフェクト効果の強さを決定します。<sup>\*</sup>
- D. FX SELECT(エフェクト選択):** エフェクトディスプレイの表示にしたがい、ルームリバーブおよびホールリバーブ、エコー、ディレイ、コーラス、ヴィブラトーン、ディレイ+コーラス、そしてディレイ+リバーブ等のエフェクトの中から選択します。<sup>\*</sup> 時計回りおよび反時計回り方向いっぱいに戻ると、エフェクト非選択となります。オプションのフットスイッチを使用すると、エコー、ディレイ、ディレイ+コーラス、そしてディレイ+リバーブエフェクトのタップテンポ ディレイ制御が可能となります。
- E. エフェクトディスプレイ:** 各チャンネルで使用しているエフェクトセッティングを表示するLEDライトです。
- F. POWER(電源インジケータ):** Acoustic Junior および Acoustic SFX IIで、アンプリファアの電源がオンになっている間、緑色に点灯します。
- Acoustic Junior Goモデルでは、充電が十分な状態である場合は緑色; 充電残量が低くなると黄色; 充電残量が本機の動作に不足あるいはバッテリーに問題がある場合は赤色に点灯します。Acoustic Junior Go をAC電源に接続すると、バッテリーの充電中はインジケータが点滅し、充電が完了すると緑色に継続点灯します; 電源スイッチがオフの状態での充電中は、弱く発光します。
- G: PAIR(ペア):** Bluetoothペアリングボタンです; “Bluetooth” の章をご参照ください。
- H: STEREO SFX (ステレオSFX - ACOUSTIC SFX II MODELのみ):** オンボードエフェクトおよびサイドマウントッドスピーカーを使用して360ステレオイメージを生成する、ステレオフィールド エクスパンション (SFX) 効果の拡がり方を決定します。SFXが聞き取れるようにするには、FX LEVEL (C)を最小より上に設定して、FX SELECTコントロール (D)を使用しエフェクトを選択する必要があります。
- I. PHASE(位相):** ここを押すと、スピーカーに対するチャンネルの極性を反転し、フィードバック低減に役立ちます(ヘッドフォンおよびUSB/ライン出力を含む)。<sup>\*</sup>
- J. LOW(低域)、MID(中域) および HIGH(高域):** それぞれ低域、中域および高域のトーンを調節します。<sup>\*</sup>
- K. LOOPER (ルーパーボタン - REC/DUB、PLAY/STOP、UNDO):** 録音/オーバーダブ、再生/停止 および 取り消し機能です。“Looper”(ルーパー)の章をご参照ください。

<sup>\*</sup>コントロールパネルの反対側に位置するチャンネル2も、チャンネル1と同一の機能を備えています。

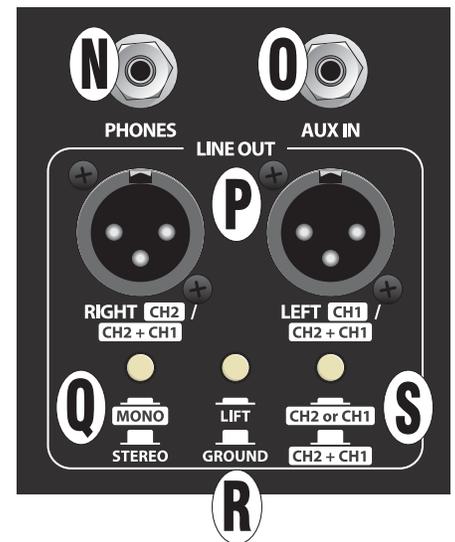
注意: コントロールパネル上にない、リモート エフェクトオン/オフ、ディレイタイムのタップテンポ コントロール、チューナーその他の機能につきましては、“フットスイッチ”の章をご覧ください。

## 背面パネル

- L. **電源:** アンプリファターの電源をオン／オフします。
- M. **IEC電源差し込み口:** アンプリファターにIEC電源コードを接続します。Acoustic Junior Go のみ、バッテリー充電のためAC電源に接続する必要があります。
- N. **PHONES (ヘッドフォン):** 1/8インチ ステレオヘッドフォン出力。ここに接続すると自動的にスピーカーをミュートします。
- O. **AUX IN (AUX入力):** 1/8インチ ステレオ入力。外部オーディオプレイヤーを接続します; 伴奏の音量は、外部機器側の音量コントロールで調節します。
- P. **バランス ライン出力:** 外部拡声機器またはレコーディング機器に接続するための、バランス ラインレベル XLR出力ジャックです。コントロールパネルの設定を変更すると、バランス ライン出力信号に影響します (AUX入力およびBluetooth信号を含む)。



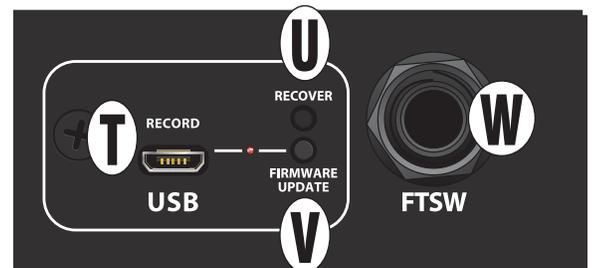
- Q. **MONO/STEREO (モノラル/ステレオ):** 突き出た (凸) 位置では通常の左/右ステレオエフェクト出力で、チャンネル1と2を合わせ (サムド) ます。押し入れた (凹) 位置では、両出力をモノラルに統合します; モノラルコンフィギュア ボタン (S)と共に使用します。
- R. **GROUND LIFT (接地解除):** 突き出た (凸) 位置では、通常の (接地) として動作します。押し入れた (凹) 位置では、意図せぬラインノイズを和らげます。
- S. **モノラルコンフィギュア:** MONO/STEREO (モノラル/ステレオ) ボタン (Q) 有効時、突き出た (凸) 位置では、チャンネル1および2をそれぞれの出力ジャックで併せます (CH2 + CH1); 最小限の入力数の、小規模なPAアプリケーションで便利です。押し入れた (凹) 位置では、チャンネル1および2を別々に出力します; レコーディングやパフォーマンスで、インストゥルメント/ボーカルミックスを分離するのに便利です。



- T. **USBポート:** アンプのコントロールパネルには、オーディオ録音のためのUSBポートが装備されています。マイクロUSBケーブル (別売) を使用し、レコーディングソフトウェアがインストールされたコンピューターをこのポートを接続します; コンピューターのオーディオコントロールパネルに、“Fender Acoustic” がオーディオ録音機器として表示されます。USBレコーディングの構成および使用等については、当社ウェブサイト <https://support.fender.com> の “Connected Amps” の部分をご参照ください。

ステレオ USB出力では、チャンネル1とチャンネル2を併せます (AUX入力およびBluetooth信号を含む)。

- U. **RECOVER (リカバー):** Fenderの技術者のみが操作する場所です。
- V. **FIRMWARE UPDATE (ファームウェアアップデート):** ファームウェアアップデートが必要な場合は、弊社ウェブサイト <https://support.fender.com> に手順が公開されます。



- W. **FTSW (フットスイッチ):** 別売りの4ボタン式フットスイッチ、MGT-4を接続するための1/4インチ入力ジャックです; 詳しくは “フットスイッチ” の章をご覧ください。

## フットスイッチ



**注意：**アンプリファァのパッケージに含まれている磁石式オーバーレイは、本アンプリファァで別売りの4ボタン式 MGT-4フットスイッチを使う際に、フットスイッチに使用するものです。磁石式ラベルをシンプルにフットスイッチの上面に載せてご使用ください（上の図はオーバーレイを設置した状態です）。

- X: モードLED:** MODE (モード) ボタン(Y)を使用して、チャンネル1 (CH1)、チャンネル2 (CH2) またはルーパー (LOOPER) モードを切り替えると、選択したモードのLEDが点灯します。
- Y: MODE ボタン/LED:** 繰り返し押し、MODE LED (X)の表示を見ながらチャンネル1 (CH1)、チャンネル2 (CH2) またはルーパー (LOOPER) モードを切り替えます。チューナーモードでは、ピッチが大きくフラットしている時に、この赤色LEDが点灯します。
- Z: ファンクション ボタン/LED 1:** このボタンを押すと、アクティブになっているチャンネルのエフェクトを無効にする“FX BYPASS (エフェクトバイパス)”機能が適用されます。チューナーモードでは、正確なピッチに近く、わずかにフラットしている場合に、この赤色LEDが点灯します。本ボタン/LEDの“REC/DUB (録音/オーバーダブ)”機能については、“ルーパー”の章をご覧ください。
- AA: ディスプレイウィンドウ:** 選択中のモードおよび機能についての情報を表示します。
- BB: ファンクション ボタン/LED 2:** “FX SELECT (エフェクト選択)”機能を使用する場合は、繰り返しこのボタンを押し、有効なチャンネルのエフェクトを—コントロールパネルのエフェクトディスプレイ (E)の上から下まで—スクロールします (リストの最後で繰り返し)。チューナーモードでは、正確なピッチに近く、わずかにシャープしている場合に、この赤色LEDが点灯します。本ボタン/LEDの“PLAY/STOP (再生/停止)”機能については、“ルーパー”の章をご覧ください。
- CC: ファンクション ボタン/LED 3:** 両チャンネルの、タイムベースエフェクト (エコー、ディレイ、ディレイ+コーラス、ディレイ+リバーブ) のテンポを制御します。任意のレートで2回以上タップし、有効なエフェクトのディレイタイムを設定します; ボタンの上に位置する赤色LEDが、タイムに合わせて点滅します。タップテンポはすべてのモードでグローバルのため、エフェクトを切り替えても同一のテンポを維持します。
- このボタンをホールドすると、ハンズフリーチューナーモードに入り、MODEボタン (Y) の設定にしたがい、チューナーがチャンネル1かチャンネル2いずれかのオーディオ信号を読みこみます。フットスイッチ上面の4つの赤色LED (モードおよびファンクションボタンLED) で、ピッチの高低が表示されます (本LEDは、音程が大きくシャープしている際に点灯します)。センターチューナーLED (DD)は、音程が正確になると点灯します。本ボタン/LEDの“UNDO (取り消し)”機能については、“ルーパー”の章をご覧ください。
- DD: センター チューナーLED:** チューナーモードでは、ピッチが正確な時にこの緑色LEDが点灯します。

# ルーパー

LOOPER(ルーパー)モードでは、最長90秒のループを録音でき、さらにパートを重ねてオーバーダビングできます。元の録音したパートの上に、何層ものパートをオーバーダビング可能です。ただし、取り消しが可能なのは最後のオーバーダブのみです。

ルーパー機能は、コントロールパネル上にあるLOOPER(ルーパー)ボタン(K)を使用するか(下の拡大図参照)、フットスイッチのルーパーモードでハンズフリーで実行します(下の“レコーディング”の項を参照)。レコーディング/オーバーダビングの動作はコントロールパネルの“REC/DUB(録音/オーバーダブ)”ボタン、またはフットスイッチのファンクションボタン1(Z)を使用して実行します。プレイバック/停止の動作はコントロールパネルの“PLAY/STOP(再生/停止)”ボタン、またはフットスイッチのファンクションボタン2(BB)を使用して実行します。最後に録音したパッセージを削除するには、コントロールパネルの“UNDO(取り消し)”ボタン、またはフットスイッチのファンクションボタン3(CC)を使用します。

## レコーディング

ループの録音を開始するには、コントロールパネルの“REC/DUB(録音/オーバーダブ)”ボタン(K)を押すか、フットスイッチのMODE(モード)ボタン(Y)を、“LOOPER”モードLED(X)が点灯するまで踏んで、次に“REC/DUB”と表記されているファンクションボタン1(Z)を踏みます。“REC/DUB”ボタン/LEDが点滅し始め、フットスイッチのディスプレイウィンドウ(AA)に“REC”と表示されると、ルーパーがレコーディングモードになります。長さ90秒以内のパッセージをプレイします。



## プレイバックおよびオーバーダビング

録音を停止し最初のパッセージのプレイバックを自動で開始するには、“PLAY/STOP(再生/停止)”ボタン(コントロールパネルまたはフットスイッチ)を押します。“PLAY/STOP”ボタン/LEDが点灯し、フットスイッチのディスプレイウィンドウに“PLA(プレイ)”と表示され、プレイバックが開始します。プレイバックを停止するには“PLAY/STOP(再生/停止)”ボタンをもう一度押すと、ディスプレイウィンドウに“STP(ストップ)”と表示されます。

また、最初のパッセージをプレイし終わったら、“REC/DUB(録音/オーバーダブ)”ボタンを再度押し(コントロールパネルまたはフットスイッチ)、すぐオーバーダブモードに入ることもできます。“REC/DUB(録音/オーバーダブ)”ボタン/LEDが点滅を継続し、フットスイッチのディスプレイウィンドウに、ルーパーがオーバーダビングモードで、最初のパッセージに2番目のパッセージをオーバーダビング可能であることを示す、“DUB(オーバーダブ)”の文字が表示されます。オーバーダブモードは、最初のパッセージのプレイバック中または停止後にも、“REC/DUB”を再度押すことで有効にできます。必要に応じた回数、パッセージをオーバーダビングします。オーバーダブを録音し終わったら、“PLAY/STOP(再生/停止)”ボタンを押して、録音したすべてのパートを再生開始/停止します。

## “UNDO(取り消し)”機能

最初のパッセージの録音中、プレイバック中または停止中、ルーパーの“UNDO(取り消し)”ボタン(コントロールパネルまたはフットスイッチ)を押すことで、録音を取り消しできます。その際、録音は停止し、フットスイッチのディスプレイウィンドウに、録音したものが消去されたことを示す、3本のダッシュが表示されます。オーバーダブが追加されると、取り消し機能は、最後に録音したオーバーダブのみに対して適用されます; それより前のオーバーダブは取り消しできません。

## ルーパーの消去

ルーパーのコンテンツをすべて消去するには、“PLAY/STOP(再生/停止)”ボタンを押す(プレイバックの場合は1回、録音またはオーバーダビングの場合は2回)、録音を停止します。その後ルーパーが停止したら、“REC/DUB”を押すと新規に録音を開始し、その前に録音したオーディオを消去します。

ルーパーをご使用の際には、下記にご留意ください:

- アンプリファアの電源をオフにした後、録音したオーディオは保存されません。
- ルーパーの出力はモノラルのみです(ステレオ効果はかかりません)。
- 録音の後、VOLUME(音量)コントロール(B)は作用しません。
- ルーパーは両チャンネルで使用可能です; 両入力(A)は自動的に、それぞれの音量レベルに等しくミックスされます。

# BLUETOOTH

- ペアリングモードを有効にするには、PAIR(ペア)ボタン(G)を3秒間長押しします。PAIRボタンが点滅し始め、接続が成功すると継続的に点灯します(接続に失敗した場合は2分間でタイムアウトします)。アンプは、直近にペアリングした機器と自動的にペアリングします(その機器が使用可能な場合)。
- 接続するには、外部機器でBluetoothを有効にし、表示されたBluetooth機器の中から、“FENDER ACOUSTIC”を選択します。Bluetoothを通じてアンプから出力される音量のレベルは、外部機器の音量コントロールを使用して調節します。
- 接続を終了する、または別の機器に接続する場合は、モバイル機器でBluetooth接続を無効にするか、PAIRボタン (G)を3秒間長押しします。アンプは接続が成功するまで、2分間ペアリングモードに戻ります。

パフォーマンスのヒント:アンプリファーはユーザーのモバイル機器からのオーディオのみをストリームします。電話の呼び出し音はアンプリファーから出力されることはありませんが、受電時はストリーミングオーディオがミュートされます。このような中断を回避するには、モバイル機器を機内モードにし、手動でBluetoothを有効にします。

## 仕様



### Acoustic Junior, Acoustic Junior Go

型式	PR 5724		
所要電力	155ワット	35ワット (通常)	
パワー・アンプ出力	100ワット/4Ω		
入力インピーダンス	4.7MΩ (インストールメント)	18.2kΩ (マイクロフォン)	18kΩ (AUX入力)
入力感度	40mVrms (インストールメント)	4mVrms (マイクロフォン)	900mVrms (AUX入力、両チャンネルドライブ時)、チャンネル音量/トーンコントロール最大時
ファンタム電源	16V (XLR 入力)		
トーンコントロール	低域: ±12db @ 80Hz	中域: ±12db @ 700Hz	高域: ±12db @ 5kHz (シェルビングタイプ)
ライン出力	最大レベル: +19.8dBu	公称レベル: +4dBu (2x)	インピーダンス: 600Ω (バランス)
スピーカー	8インチスピーカー(4Ω) およびコンプレッションツイーター		
ヘッドフォン出力	140mW (16Ω/チャンネル)		
バッテリー (ACOUSTIC JUNIOR GO のみ)	リチウムイオン充電電池	リチャージタイム: 4時間 (フル充電後)	
	バッテリー持続時間: 5時間 (最大音量)、12時間 (控えめな音量)		
フットスイッチ	4ボタン式 MGT-4 (別売り、部品番号 0994071000)、付属のマグネット式オーバーレイラベルを使用		
サイズ	幅: 39.9 cm	高さ: 30.5 cm	奥行き: 23.9 cm
重量	Acoustic Junior: 7.14 kg Acoustic Junior Go: 7.78 kg		

### Acoustic SFX II

型式	PR 5725		
所要電力	300ワット (最大)	49ワット (通常)	
パワー・アンプ出力	100 ワット x 2 / 4Ω		
入力インピーダンス	4.7MΩ (インストールメント)	18.2kΩ (マイクロフォン)	18kΩ (AUX入力)
入力感度	40mVrms (インストールメント)	4mVrms (マイクロフォン)	900mVrms (AUX入力、両チャンネルドライブ時)、チャンネル音量/トーンコントロール最大時
ファンタム電源	16V (XLR 入力)		
トーンコントロール	低域: ±12db @ 80Hz	中域: ±12db @ 700Hz	高域: ±12db @ 5kHz (シェルビングタイプ)
ライン出力	最大レベル: +19.8dBu	公称レベル: +4dBu (2x)	インピーダンス: 600Ω (バランス)
スピーカー	フロント: 8インチスピーカー (4Ω) およびコンプレッションツイーター	サイド: 6.5インチスピーカー (8Ω)	
ヘッドフォン出力	140mW (16Ω/チャンネル)		
フットスイッチ	4ボタン式 MGT-4 (別売り、部品番号 0994071000)、付属のマグネット式オーバーレイラベルを使用		
サイズ	幅: 39.9 cm	高さ: 49.2 cm	奥行き: 25.9 cm
重量	9.98 kg		

製品の使用は予告なく変更になることがあります。

## 引言

Fender 的 Acoustic Junior、Acoustic Junior Go 和 Acoustic SFX II 放大器为原声电吉他和麦克风带来饱满、自然的音色，配有特别调谐的木音箱。所有三款放大器都拥有蓝牙无线流媒体功能、工作室质量的立体声效果、辅助输入和耳机输出、可配置的 XLR 线路输出、用于录音的 USB 插口以及更多。

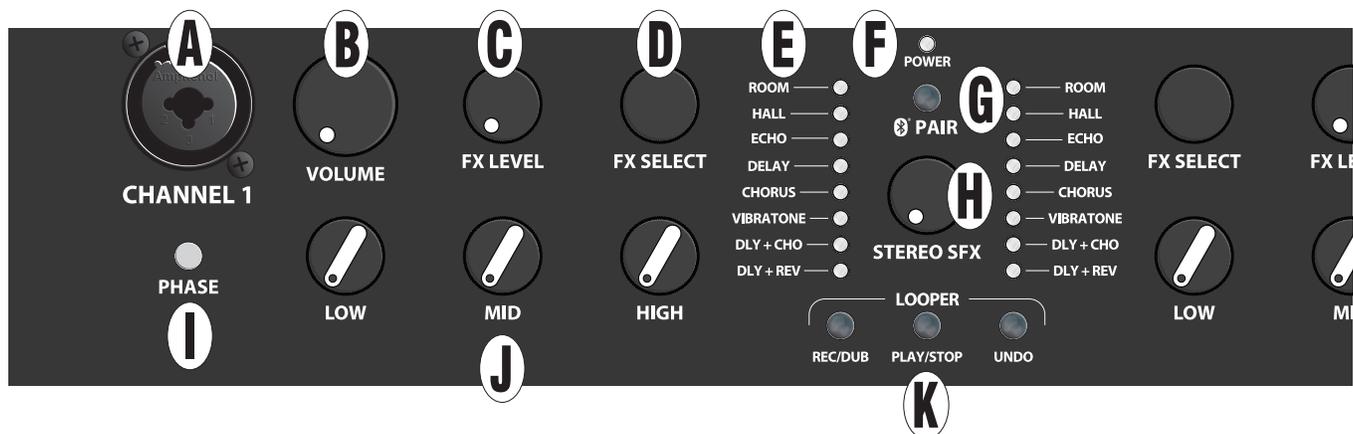
作为独奏表演的完美便携式系统，Acoustic Junior and Acoustic Junior Go 放大器拥有两个通道，各配有多种工作室质量的立体声效果。Acoustic Junior Go 可依靠方便且环保的充电电池运行，单次充电可最大音量工作 5 小时。两款放大器均拥有 100 瓦功率、单 8 英寸扬声器、压缩高音扬声器、方便的后倾支架和较轻的重量，是各种场所精彩吉他和声乐排练和表演的理想选择。

对于独奏表演或在舞台上与乐队合奏，Acoustic SFX II 放大器也有双通道设计、工作室质量的立体声效果和令人惊叹的立体声场扩展（SFX）技术，它超越了立体声，可获得充满整个房间的音响图景，让听众沉浸在丰满的声学体验中。它将功率提高至 200 瓦，以获得完美的吉他和声乐力量和性能。



Acoustic Junior（左）、Acoustic SFX II（中）、Acoustic Junior Go（右）。

## 控制面板



- A. **通道输入:** 组合插口接受 XLR 和高阻抗 ¼ 寸输入。在此插入乐器或麦克风; XLR 输入为需要幻象电源的麦克风提供电源 (请勿使用铝带式麦克风, 它可能会被幻象电源损坏)。
- B. **音量:** 调整整体音量点评 (包括耳机和 USB/线路输出)。
- C. **效果电平:** 使用效果选择控制来确定选定的效果强度。
- D. **效果选择:** 选择效果, 包括房间和大厅混响、回声、延迟、合唱、震音、延迟加合唱和延迟加混响, 如效果显示所示。\*顺时针和逆时针拧到底时未选择效果。可选踏板开关可对回声、延迟、延迟加合唱及延迟加混响效果进行踏板节奏延时控制。
- E. **效果显示:** 发光二极管会亮起以显示每个通道使用的效果。
- F. **电源指示灯:** 对于 Acoustic Junior 和 Acoustic SFX II, 当放大器打开时, 指示灯亮起绿色。

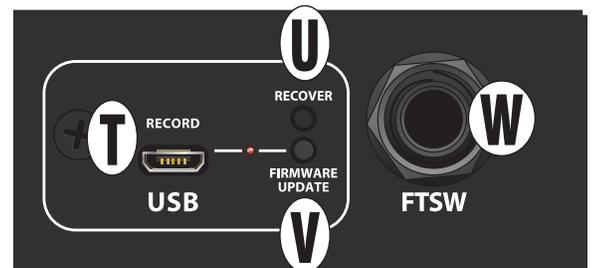
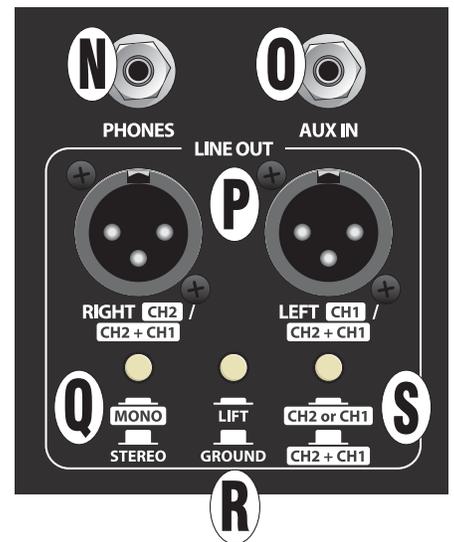
仅对于 Acoustic Junior Go 型号, 指示灯亮起绿色指示电池电量充足; 两栖黄色表示电池电量不足; 亮起红色表示电量无法运行或电池故障。当 Acoustic Junior Go 连接到交流电源时, 指示灯在电池充电期间闪烁, 充电完成后亮起绿色; 当电源开关设置为“关闭”且进行充电时亮度较低。
- G. **配对:** 蓝牙配对按钮; 请参阅“蓝牙”部分。
- H. **立体声场扩展 (仅限 ACOUSTIC SFX II 型号):** 确定立体声场扩展 (SFX) 效果的范围, 它使用板载效果器和侧置扬声器创建 360 度立体声图景。请注意, 要听到 SFX, 必须使用效果选择控制 (D) 选择效果, 效果电平 (C) 设置为高于最低值。
- I. **相位:** 为了帮助减少反馈, 按下以反转扬声器的通道极性 (包括耳机和 USB/线路输出)。
- J. **低、中、高音:** 分别调整低音、中音和高音音调。
- K. **循环按钮 (录音/叠录、播放/停止、撤销):** 录音/叠录、播放/停止和撤销功能。请参阅“循环”部分。

\*表示控制面板上另一侧有相同功能供通道二使用。

注: 请参阅“踏板开关”部分来了解不在控制面板上的其他功能, 包括遥控效果开关、脚踏节奏延时控制和内置调音器。

## 后面板

- L. **电源:** 打开和关闭放大器。
- M. **IEC 电源输入:** 在这里将 IEC 电源线连接到放大器。仅对于 Acoustic Junior Go, 必须连接到交流电源才能为电池充电。
- N. **耳机:** 1/8 寸立体声耳机输出自动将扬声器输出静音。
- O. **辅助输入:** 1/8 寸立体声输入。连接外部音频播放器; 使用外部设备的音量控制来设置伴奏音量电平。
- P. **平衡线路输出:** 平衡线路电平 XLR 输出插孔, 用于连接外部扩声和录音设备。对控制面板设置的更改会影响平衡线路输出的信号 (包括辅助输入和蓝牙信号)。
- Q. **单声道/立体声:** “弹出”位置用于正常的左/右立体声效果输出, 将通道一和二加在一起 (“求和”)。“按下”位置将两个输出配置为单声道; 与单声道配置按钮 (S) 一起使用。
- R. **浮地:** “弹出”位置用于正常 (接地) 运行。“按下”位置有助于缓解不希望有的线路噪音。
- S. **单声道配置:** 使用单声道/立体声按钮 (Q) 时, “弹出”位置在两个输出插孔 (CH2 + CH1) 处均输出通道 1 和 2 求和; 可用于最低输入的小型功放应用。“按下”位置为通道 1 和 2 (CH2 或 CH1) 提供单独的输出; 可分离乐器/声乐混音, 用于录制或表演。
- T. **USB 端口:** 放大器的控制面板具有用于音频录制的 USB 端口。使用微型 USB 电缆 (未附), 将带有录制软件的计算机连接到此端口; 计算机的音频控制面板将显示“Fender Acoustic”作为录音设备。要获得配置和使用 USB 录制的帮助, 请访问 <https://support.fender.com> 的“连接放大器”部分。  
  
立体声 USB 输出包含通道一和二 的求和 (包括辅助输入和蓝牙信号)。
- U. **恢复:** 仅供 Fender 服务人员使用。
- V. **固件更新:** 如果建议进行固件更新, 将在 <https://support.fender.com> 发布说明。
- W. **踏板开关:** 1/4 寸输入插孔, 用于连接可选的 MGT-4 四键踏板开关; 请参阅“踏板开关”部分。



## 踏板开关



**注：**放大器的包装中随附的磁性覆盖标签应贴于可选的 MGT-4 四键踏板开关上，以便与这些放大器一起使用。只需将磁性标签放在踏板开关上方（上方显示 OVERLAY）。

- X. 模式指示灯：**指示是否使用模式按钮 (Y) 选择通道 1、通道 2 或循环模式。
- Y. 模式按钮/指示灯：**重复按下以选择通道 1、通道 2 或循环器，如模式指示灯 (X) 所示。在调音器模式下，亮起这一红色指示灯表示音调偏低较多。
- Z. 功能按钮/指示灯 1：**按下获得“效果旁路”功能，该功能可禁用活动通道中的效果。在调音器模式下，亮起这一红色指示灯表示音高偏低但较接近正确音高。有关此按钮/指示灯的循环器“录音/叠录”功能，请参阅“循环器”部分。
- AA. 显示窗口：**显示选定的模式和功能信息。
- BB. 功能按钮/指示灯 2：**重复按下使用“效果选择”功能，滚动浏览活动通道的效果——从上到下显示在控制面板效果显示 (E) 中 (列表到底后会重复显示)。在调音器模式下，亮起这一红色指示灯表示音高偏高但较接近正确音高。有关此按钮/指示灯的循环器“播放/停止”功能，请参阅“循环器”部分。
- CC. 功能按钮/指示灯 3：**控制两个通道的时基效果节奏 (回声、延迟、延迟加合唱、延迟加混响)。以期望的速率踩下至少两次以设置活动效果的延迟时间；上方红色指示灯会按照相应时间闪烁。脚踏节拍是所有模式的全局设置，保证切换效果时保持同一节拍。

按住此按钮可进入免提调音器模式，调音器会按照模式按钮 (Y) 的选择，从通道 1 或通道 2 读取音频信号。踏板开关顶部的四个红色指示灯 (模式和功能按钮指示灯) 表示不同程度的音高偏高或偏低 (此按钮上方的红色指示灯亮起表示音高偏高较多)。达到正确的音高时，中心调音器指示灯 (DD) 会亮起绿色。有关此按钮/指示灯的循环器“撤销”功能，请参阅“循环器”部分。

- DD. 中央调音器指示灯：**在调音器模式下，亮起这一绿色指示灯表示音高正确。

## 循环器

循环器模式使用户能够记录长达 90 秒的循环，并叠录后续的部分。可以在原始部分上叠加任意数量的叠录部分；但是，只有最后一个叠录可以撤销。

循环器功能可通过控制面板上的循环器按钮 (K) 手动完成 (特写图像见下)，也可以在循环器模式下使用踏板开关进行免提操作 (请参阅下面的“录音”)。使用控制面板“录音/叠录”按钮或踏板开关功能按钮 1 (Z) 完成录音/叠录操作。使用控制面板“播放/停止”按钮或踏板开关功能按钮 2 (BB) 完成播放/停止操作。使用控制面板“撤销”按钮或踏板开关功能按钮 3 (CC) 来删除最后一个录音段落。

### 录音

要开始录制循环，按下控制面板 (K) 上的“录音/叠录”按钮或踩下踏板开关模式按钮 (Y)，直到“循环器”模式指示灯 (X) 亮起，然后踩下踏板开关上标记为“录音/叠录”的功能按钮 1 (Z)。“录音/叠录”按钮/指示灯将开始闪烁，踏板开关显示屏窗口 (AA) 将显示“录音”，表明循环器处于录制模式。演奏任何持续时间长达 90 秒的段落。



### 回放和叠录

父母

要停止录制并自动开始播放第一个段落，请按“播放/停止”按钮 (在控制面板或踏板开关上)。“播放/停止”按钮/指示灯将亮起，踏板开关显示屏窗口将显示“PLA”指示播放。要停止播放，请再次按“播放/停止”；踏板开关显示屏将显示“STP”。

或者，在演奏完第一段音乐段落，再次按“录音/叠录” (在控制面板或踏板开关上) 直接进入叠录模式。“录音/叠录”按钮/指示灯将继续闪烁，踏板开关的显示窗口将显示“叠录”，表示循环器现在处于叠录模式，然后可以在第一个音乐段落上方叠录第二个段落。在第一个段落播放期间或之后，还可以再次按下“录音/叠录”按钮来激活叠录模式。可以根据需要任意重复叠录段落。录制叠录段落，按“播放/停止”按钮可开始和停止播放所有录制的部分。

### “撤销”功能

在录制、播放或停止在第一个音乐段落上时，用户可以按循环器“撤销”按钮 (在控制面板或踏板开关上) 根据需要撤销录制。执行此操作时，录制将停止，踏板开关的显示窗口将显示三条横线，说明已录制的内容现已擦除。但是，一旦添加了叠录，撤销功能仅适用于记录的最后一个叠录；前面的叠录无法撤销。

### 清除循环器

要清除所有循环器内容，可按“播放/停止” (播放时按一次，录制或叠录时要按两次) 停止录制。然后，一旦循环器停止，按下“录制/叠录”将开始新的录制，相当于“清除”以前录制的音频。

此外，在使用循环器时，请注意：

- 关闭放大器时，不会存储录制的音频。
- 循环器输出仅为单声道 (不会生成立体声效果)。
- 一旦完成录制，音量控制 (B) 不会影响循环器。
- 循环器可用于两个通道；两个输入 (A) 将会自动混合为其各自的音量级别。

## 蓝牙

- 按住配对按钮 (G) 三秒钟以激活配对模式。配对按钮将开始闪烁, 然后在连接成功时保持亮起 (如果连接不成功, 将在两分钟内超时)。放大器之后将自动与上次连接的设备配对 (如果可用)。
- 要连接, 请在外部设备上启用蓝牙, 扫描显示的蓝牙设备并选择“FENDER ACOUSTIC”。使用外部设备的音量控制设置通过放大器的蓝牙音量电平。
- 要结束连接或连接到其他设备, 请禁用移动设备上的蓝牙连接, 或按住配对按钮 (G) 三秒钟。放大器将返回到配对模式两分钟, 直到连接成功。

演出提示: 放大器仅从用户的移动设备接收音频流。电话不会通过放大器, 但打电话时音频流将静音。为了避免音频流中断, 启动移动设备飞行模式并手动启用蓝牙。

## 技术指标



### Acoustic Junior、Acoustic Junior Go

型号	PR 5724		
功率需求	155 瓦	35 瓦 (典型)	
功率放大器输出	100 瓦到 4 Ω		
输入阻抗	4.7MΩ (仪器)	18.2kΩ (麦克风)	18kΩ (辅助输入)
输入灵敏度	40mVrms (乐器)	4mVrms (麦克风)	900mVrms (辅助输入, 双通道驱动), 通道音量/音调控制放在最大值
幻象电源	16V (XLR 输入)		
音调控制	低: ±12dB @ 80Hz	中音: ±12dB @ 700Hz	高音: ±12dB @ 5kHz (书架型)
线路输出	最大电平: ±19.8dBu	标称电平: +4dBu (2x)	阻抗: 600Ω (平衡)
扬声器	8 寸扬声器 (4Ω) 和压缩高音扬声器		
耳机输出	140 mW 输入 16Ω/通道		
电池 (仅限 ACOUSTIC JUNIOR Go)	锂离子可充电电池	充电时间: 4小时 (完全放电后)	
	电池续航时间: 5小时 (最大音量), 12小时 (中等音量)		
脚踏开关	四键 MGT-4 (可选, 部件号 0994071000), 配合随附磁性叠加标签使用		
尺寸	宽度: 15.71 英寸 (39.9 厘米)	高度: 12.02 英寸 (30.5 厘米)	深度: 9.4 英寸 (23.9 厘米)
重量	Acoustic Junior: 15.7 磅。(7.14 千克)		Acoustic Junior Go: 17.1 磅。(7.78 千克)

### Acoustic SFX II

型号	PR 5725		
功率要求	300 瓦 (最大)	49 瓦 (典型)	
功率放大器输出	2 x 100 瓦输入 4Ω		
输入阻抗	4.7MΩ (仪器)	18.2kΩ (麦克风)	18kΩ (辅助输入)
输入灵敏度 4	0mVrms (乐器)	4mVrms (麦克风)	900mVrms (辅助, 两个通道驱动), 通道音量/音调控制放在最大值
幻象电源	16V (XLR 输入)		
音调控制	低: ±12dB @ 80Hz	中音: ±12dB @ 700Hz	高音: ±12dB @ 5kHz (书架型)
线路输出	最大电平: ±19.8dBu	标称电平: +4dBu (2x)	阻抗: 600Ω (平衡)
扬声器	前部: 8 英寸扬声器 (4Ω) 和压缩高音扬声器	侧面: 6.5 英寸扬声器 (8Ω)	
耳机输出	140 毫瓦输入 16Ω/通道		
踏板开关	四键 MGT-4 (可选, 部件号 0994071000), 配合随附磁性叠加标签使用		
尺寸	宽度: 15.7 英寸 (39.9 厘米)	高度: 19.39 英寸 (49.2 厘米)	深度: 10.21 英寸 (25.9 厘米)
重量	22磅。(9.98 千克)		

产品规格可改变, 恕不另行通知。





**PART NUMBERS / REFERENCIAS / RÉFÉRENCE / NÚMERO DAS PEÇAS / NUMERO PARTI / TEILENUMMERN  
NUMERY REFERENCYJNE / REFERENČNÍ ČÍSLA / REFERENČNÉ ČÍSLA / REFERENČNE ŠTEVILKE / 部品番号 / 型号**

**Acoustic Junior**

2314300000 (120V, 60Hz) NA  
2314301000 (110V, 60Hz) TW  
2314303000 (240V, 50Hz) AU  
2314304000 (230V, 50Hz) UK  
2314305000 (220V, 50Hz) ARG  
2314306000 (230V, 50Hz) EU  
2314307000 (100V, 50/60Hz) JP  
2314308000 (220V, 50Hz) CN  
2314309000 (220V, 60Hz) ROK  
2314313000 (240V, 50Hz) MA

**Acoustic Junior Go**

2314400000 (120V, 60Hz) NA  
2314401000 (110V, 60Hz) TW  
2314403000 (240V, 50Hz) AU  
2314404000 (230V, 50Hz) UK  
2314405000 (220V, 50Hz) ARG  
2314406000 (230V, 50Hz) EU  
2314407000 (100V, 50/60Hz) JP  
2314408000 (220V, 50Hz) CN  
2314409000 (220V, 60Hz) ROK  
2314413000 (240V, 50Hz) MA

**Acoustic SFX II**

2314500000 (120V, 60Hz) NA  
2314501000 (110V, 60Hz) TW  
2314503000 (240V, 50Hz) AU  
2314504000 (230V, 50Hz) UK  
2314505000 (220V, 50Hz) ARG  
2314506000 (230V, 50Hz) EU  
2314507000 (100V, 50/60Hz) JP  
2314508000 (220V, 50Hz) CN  
2314509000 (220V, 60Hz) ROK  
2314513000 (240V, 50Hz) MA

**产品中有害物质的名称及含量**

部件名称	有害物质					
	铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr(VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
箱体	O	O	O	O	O	O
喇叭单元*	O	O	O	O	O	O
电子部分	X	O	X	O	O	O
接线端子	X	O	O	O	O	O
电线	X	O	O	O	O	O
附件	O	O	O	O	O	O

本表格依据 SJ/T 11364 的规定编制。  
O: 表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 GB/T 26572 规定的限量要求以下。  
X: 表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 GB/T 26572 规定的限量要求。  
注: 含有有害物质的部件由于全球技术发展水平限制而无法实现有害物质的替代。

\*产品含有喇叭单元时有效。

A PRODUCT OF  
FENDER MUSICAL INSTRUMENTS CORP.  
311 CESSNA CIRCLE  
CORONA, CALIF. 92880 U.S.A.

AMPLIFICADOR DE AUDIO  
IMPORTADO POR: Fender Ventas de México, S. de R.L. de C.V.  
Calle Huerta #279, Int. A. Col. El Naranjo. C.P. 22785. Ensenada, Baja California, México.  
RFC: FVM-140508-C10  
Servicio al Cliente: 01(800) 7887395, 01(800) 7887396, 01(800) 7889433

Fender® is a trademark of FMIC.  
Other trademarks are property of their respective owners.  
Copyright © 2020 FMIC. All rights reserved.